

# INACHO ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市狐島4288番地 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158  
 会長：小川秋實 副会長：唐澤敏治 幹事：小向誠一

	2014-2015 国際ロータリーのテーマ <b>ロータリーに輝きを</b> Light up Rotary	2014-2015 RI会長 ゲイリー・C.K.ホアン 台湾台北	
	<b>第1275回 例会 平成26年7月15日(火)</b>		

■ 点 鐘 12:30

■ ソング それでこそロータリー 馬場秀則ソングリーダー



■ 会長談話 小川秋實会長



「奉仕の理想」は、格調が高い言葉ですが、意味が分かりにくい言葉です。ロータリーに関する言葉は英語が基になっていて、「奉仕の理想」は、英語の「Ideal of Service」を訳した言葉です。

英語の「Ideal」は、「実際に目標とすべき、あるいは達成すべきこと」を指しますが、昔の人はこれを「理想」と訳しました。ところが、日本語の「理想」は、「実際には実現出来ないとしても、そうあってほしいと思う状態」、すなわち、「現実的ではない」という意味で使われています。平たく言うと「夢」ということです。「奉仕についての夢」では、英語の「ideal of service」の意味を正確に表していないこととなります。

このようなことから昨年、「奉仕の理想」は「奉仕の理念」に改訳されました。「理念」は、「物事についての、こうあるべきだという根本の考え」を意味し、英語の「ideal」に意味が近い言葉です。

「理想」も「理念」も、明治初期・大正初期に英語・ドイツ語の哲学に関わる言葉を日本語に訳した言葉です。とかく漢字を組み合わせた難しく感じる言葉が多くなっています。「理想」は日常生活でもときどき使われるので、意味は分かりやすいのですが、一方、「理念」は、経営理念、企業理念など、組織の看板になる言葉で、日常生活で使う言葉ではありません。「奉仕の理想」を「奉仕の理念」と言い換えても、相変わらず分かりにくいように感じます。

思い切って、「奉仕のあり方」とすれば正しいと思いますが、押しつけがましい響きがあるし、格調高い言葉とはいえません。そこで、「奉仕のころ」としたらどうでしょうか。「ころ」は、「演技のころを会得する」、「能のころは幽玄にある」など、「物事の本質」という意味で使われています。ただし、「ころ」は、「精神」、「本当の気持ち」、「考え」、「思いやり」、「度量」、「記憶」など、いろいろな意味で使われていて、曖昧だという意見があるかもしれません。しかし、文脈から意味ははっきりします。直訳調の言葉でなく、日本語として古くから使われ意味も分かりやすい言葉を使ったらと思います。

■ ニコニコボックス

- ◆小川秋實 木曾に災害をもたらした台風が、上伊那にほとんど影響がなく幸いでした。中央西線、国道19号の早期復旧を願っています。
- ◆伊澤和男 前回はお休みありがとうございました。田中さん、ありがとうございました。
- ◆馬場秀則 I.M.反省会、月信原稿などなど全て終わり、ガバナー補佐の仕事が全て終了致しました。皆様のご協力ありがとうございました。
- ◆鈴木一比古 ハイシニアソフトボール県大会、優勝しました。10月に全国大会が丸亀市にて開催されます。

矢島・唐澤・鈴木が選手です。

◆池田幸平

塩見小屋の下見で、塩見岳に登ってきました。行きは良い良い、ヘリコプターで。帰りは恐い、徒歩で5時間。もう限界でした。

◆宮澤友浩

先週8日は、父・友恵の3年目命日でした。早いものです。会員在籍中は大変お世話になりました。

(発表 伊藤幸明委員長)

■ 幹事報告

小向誠一幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 委員会報告



・7月13日(日) 第22回インターアクト地区大会の報告 矢野昌史青少年奉仕委員長

大会テーマ: 自分たちの今を知る

ホスト: 松本工業高校IAC、松本南RC

会 場: 上高地

上高地の素晴らしい自然を守るため、ボランティア活動で日頃整備や管理をされているようですが、これからは是非今のこの自然環境を末永く維持していただきたいと願うと共に、訪れる私たちもきちんとマナーを守って、環境保存に協力しなければと思いました。



■ 出席報告

会員数33名 出席免除会員8名 長欠会員2名 本日出席者22名  
事前メイク1名 出席率82.14% 前回出席率 修正なし (発表 井上修委員)

■ 全員協議会

全員協議会 委員会事業計画発表(前回の続き)



・下井達典 米山記念奨学会担当

(1)方 針

- ・日本のロータリーが米山奨学生事業に注力している意義と実態について、広く会員に理解を得られるように務める。
- ・この事業を支援するために普通寄付と特別寄付を行う。

(2)計 画

- ・奨学事業理解の為に、例会でハイライト米山の記事紹介や月間行事を行う。
  - ・米山月間(10月)の前後に米山奨学生を卓話に招き、奨学生についても理解を拡げる。
  - ・地区目標の会員一人当たり寄付目標額20,000円(普通・特別合算)の実現 に工夫する。
  - ・普通寄付金は一人当たり5,000円とし、差額15,000円相当 は会員に特別寄付者を募る。
- 関係者と協議しながら実現に努めたいと思います。



・矢野昌史 青少年奉仕委員長

将来日本を託し、世界に貢献する青少年の健全育成を主眼として、青少年活動にふさわしい事業活動を行う。

## 決算報告

- ・第27年度 藤澤健二会計より決算報告が行われた。
- ・第27年度 清水吉治監査人より監査報告が行われた。



## ■ フリートーク

会 長：ロータリーは何をしている組織かを外部に知ってもらう必要がある。アイデアがあれば述べていただきたい。他クラブへのメイクアップは積極的に行って、その印象を披露していただきたい。

A会員：浜松RCのソングリーダーは、音楽のプロで、素晴らしかったが、当クラブのソングリーダーも遜色がない。

会 長：ソングについて意見はないか。

B会員：「信濃の国」など、ロータリーソング以外を歌っているクラブがある。ロータリーソング以外を歌うにはCDが必要。

C会員：ソングは1番だけでなく、2番、3番も歌うようにしたらよい。

会 長：食事時間にBGMを流しているクラブやSAAが音頭を取って2分間の肩もみ体操をしているクラブがある。新しい会員から意見はないか。

D会員：ソングの曲目が毎回変わるので、歌詞を覚えるのが大変。40-50歳代の会員を増やしたい。

E会員：若い会員を増やしたい。あるクラブでは会員同志がバイクでツーリングしている。

会 長：新しい会員から心強い発言があつて、ありがたい。

F会員：このような時間があるとおちおちしておれないが、よいことだ。

## ■ 点 鐘 13:30

7月29日(火) 点鐘 18:30

場所 海老屋料理店

夜間例会